

平成26年度（公財）加納美術振興財団事業計画 ~~（案）~~

26.2.20 策定

1. 平成25年度より向こう5年間安来市よりの指定管理の要請を受け、協定に基づき安来市加納美術館の管理運営と収蔵品の保持保存業務を行うとともに、安来市の文化振興に努める。
2. 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、書、彫像、木工彫刻、水彩画の美術作品の展示及びそれらに関する学術講演会を実施する。
3. 展示及び講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告などにより行うとともに、観光アドバイザーによる関東・関西へのアプローチを図る。
4. 26年度は次の企画展及びイベントを行う。
 - ① 企画展
 - 1月～3月 『名碗一名工の技一』展、池田遙邨展、
 - 4月～9月 『金重一門展』、郷土の偉人 細田育宏・西田明史展、小野竹喬展、名碗展
 - 9月～10月 『米原雲海展』（安来市合併10周年展）
 - 10月～12月 『楽山展』、備前焼展
 - ② イベント
 - 3月～12月 『名碗を愉しむ会』（茶会、毎月1回）
 - 4月 安来ひなめぐり協賛
 - 4月～9月 講演会『金重一門展』金重晃介氏、
 - 8月 行灯による小中学生作品展覧会
 - 11月 美術館まつり、講演会『楽山展』長岡空郷氏
 - その他 莞菴活動記録の出版
5. 美術館のサービス向上 → 『癒しとくつろぎのある美術館』を目指して
 - ① 来館者への茶菓、抹茶のふるまいを継続する
 - ② 映像ガイドの導入 どじょっこTVと連携
 - ③ 出前授業（学校、地域交流センター）、講演
 - ④ 食事・喫茶室の設置の検討（前年に引き続き加納山佐屋と共同）

6. 館の運営

- ① 4月より休館日を毎週火曜日とする（祝日の場合は翌日）
- ② 次世代を託せる学芸員の確保
- ③ 運営協議会などを設け、1～2か月ごとに業務の進捗を把握する
- ④ 美術館紀要の報告会及び編集発行
- ⑤ ボランティア、サポーターの募集によるイベントのスムーズな運営

7. 地域振興事業の推進

- ① 和鋼博物館、島根県ミュージアム協議会、文化協会、文化事業団体などとの連携
- ② 学校、公民館などとの連携による、郷土の美術、文化振興

8. 作品、建屋、設備機器の修復

- ① 市所有の作品の修復（シミ、カビ、破れなど5点程度）
- ② 照明、絨毯などの更新
- ③ 道路看板の整備修正
- ④ 温調、調湿機の運転によるファシリティーデータの採取
- ⑤ 庭の手入れ（除虫、除草の徹底）

9. その他

- ① 防犯・警備 誤発報防止のための防虫・防風対策の実施
- ② 資金繰り 寄付金による運転資金の有効な運用
- ③ 来年度の準備 東京国立近代美術館の菫蕾の絵の里帰りへ再挑戦
- ④ 安来市開発公社貸付金残 23百万円安来市と返金交渉継続